



No.150
令和2年2月1日発行

ねやがわし 社会福祉協議会だより

子どもからおとしよりまで
笑顔あふれる地域へ



主な記事

- 社会福祉協議会 会員募集 ご協力をお願い2
- 災害時にもやさしい地域を目指して「マイ防災プラン」.....3
- ～中央小学校区～福祉委員会活動紹介4
- 福祉のお仕事座談会開催5
- ボランティアグループ「うらしまさん」活動紹介6
- 子どもボランティア体験講座/献血だより6
- 社協からのお知らせ7
- 地域のヒト！ 下田 幾子(しもだ いくこ)さん8
(南校区福祉委員会 委員長)

南校区福祉委員会

ミニデイサービス「コロンブス」は、介護者の会の協力を得て健康チェックや口腔体操、おしゃべり、会食を実施しています。始めてから20年以上続く笑顔いっぱいの活動の1つです。また、子育てサロン「さつきちゃん」は、おしゃべり喫茶やなんでも福祉相談所と同日に、子どもたちへの読み聞かせを中心に行っています。たたみの上なので、子どもたちが自由に動きまわっても安心です♪

ねやがわし社会福祉協議会だより
虹 No.150 令和2年2月1日発行

発行所/社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会
編集者/社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会
広報編集委員会

〒572-8566 寝屋川市池田西町24-5市立池の里市民交流センター内
電話 072-838-0400 ◆ FAX 072-838-0166
URL: <http://www.neyagawa-shakyo.or.jp>

Interview

南校区福祉委員会



しもだ いくこ
下田 幾子さん

インタビュー 地域のヒト!

Vol.16

#南校区福祉委員会
#委員長
#趣味はジーンズで
グランドゴルフ!

たくさんの仲間を支えられての活動に 感謝、感謝の日々

子ども会育成者として10年、その後も地域福祉活動を中心にボランティア活動を続けて早40年が経ちました。手遊びが子どもから高齢者に。個別支援活動がケース会議からケア会議に。この40年間、たくさんの応援者と仲間を支えられての活動に感謝、感謝の日々です。

今後の抱負

「自分を大切にできる心」と「他人を思いやる心」を育てていく人を増やす地域になってほしいし、一助となりたい!

「ひとりひとりお互いさま」が合言葉!

近年、地震などの自然災害による被害を通じて、地域のつながりの必要性はほとんどの方が感じていると思います。ですが、人間関係の希薄化や孤立化などの課題から、地域のつながりが薄らぐのを感じています。福祉委員会では役員会・ネットワーク調整会議を重要な会議に位置付け、地域の課題を解決するためしっかりと話し合い、校区一丸となるように努力しています。各地区では、高齢者サロン、喫茶(歌声含む)、健康体操などのふれあえる場から、地域から近所(近助)に、お互いさまの関係性づくりが少しずつ広がることを目指して、地道な活動を大切にしています。

編集後記 ねんごん畑

昨年5月に元号が変わり、阪神・淡路大震災や東日本大震災をはじめとする様々な自然災害に見舞われた平成の時代から令和という新しい時代が幕を開けました。
令和には人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味が込められているそうです。
元号が変わることで急激に何かが変わるといふことはありませんが、日本中が歓喜に沸く中、めでたく即位された天皇、皇后両陛下の即位の連の行事をテレビで拝見し、新たな時代の幕開けと心々、人々の心を希望の光で照らして下さいました。
わたしたちは地域を基盤として活動していますが、今あるのは先輩のみなさまに育てていただいたものと感謝しています。そして今後活動を続けるにあたり、その教えを忘れず「うたへ・油かじり」気持ちを胸に抱きながら、今一度活動を振り返る中で、「なごん畑」を育てて他人さまに誰かに伝えたいという気持ちを持って胸にも「なごん畑」と「感謝」のある自分を育てていく。令和でありたい。ねんごん畑の願です。
(一・主)

ホームページ フェイスブック ツイッター インスタグラム



UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

寝屋川市社協 検索

特集

災害時にもやさしい地域を目指して

私に足りないもの…

それは「マイ防災プラン」なのかもしれない

平成30年度から、延べ298名の視覚障害や聴覚障害をお持ちの方、知的障害や精神障害・身体障害を持つ子の親、難病を抱える方、そして地域の福祉委員や民生委員などの参加者ととも、「マイ防災プラン」づくりを進めてきました。

あなたによる、あなたのための災害に備えた事前の備え(=「マイ防災プラン」)を、家族や近隣・手助けしてくれる人など、身近な人と一緒に考えておきませんか？

【知的に障害を持つ子の親】
避難所でも、普段の生活に近づけるための空間があれば。人混みが苦手な子どもが落ち着くイヤホン、絵本、テントなどの物品が必要。

【肢体に障害を持つ子の親】
避難したいができないかもしれない。停電すると困難。衛生器具を動かすために自家発電機が必要。子どもを置いて避難所に物資を取りに行けないため、近隣の支援者の協力がほしいが、どこにいるのかわからない。

【備蓄品や持出し袋について】
約6割の参加者が、持ち出したい物品が多いにも関わらず、必要な物品を袋に入れていない。



【聴覚障害者】
情報は大きなホワイトボードや筆談ボードに書いてほしい。
手話通訳者がいると助かる。

【福祉委員等】
支援したいが自分自身が高齢であり、どこまでできるかわからない。

【視覚障害者】
まず避難誘導してもらえるのか。視覚障害者であることを、災害発生前から福祉委員や近隣住民に知らせる必要がある。避難所では、床にロープを引けば自力で移動できることもある。太い字であれば読める人もいる。

社会福祉協議会から参加者へのメッセージ

- 日ごろからお互いの困ることや、避難行動・避難所で配慮してほしいことなどを伝えあうことにより、「災害時にもやさしい地域」となる。困った時に助けを求めたり、助け合ったりできる関係づくりが大切である。
- 「知らないから何もできない」から「知ることのできることもある」へ。
- 「障害」には個々の違いがある。情報発信や声掛けの仕方に「配慮」を。
- 「マイ防災プラン」作成から見えてきた課題を地域みんなで考え、地域の防災対策に活かしてほしい。

協力:池内研究室(摂南大学理工学部建築学科) 図 地域福祉課 ☎072-838-0400



寝屋川市社会福祉協議会 会員募集

あなたも地域福祉の応援者に!

会費の40%が、あなたの町の地域福祉活動に活用されます

実施期間 2月25日(火)から3月25日(水)まで

誰もが住みなれた町で安心して暮らすことができるまちづくりを目指し、行政や住民、民間の福祉サービス事業者など、公民が協働して進めていく取り組みを地域福祉活動といいます。

本会は、住民の福祉や地域社会に対する関心を高めていくことで、福祉制度やサービスの内容を他人任せにせず、住民自身が考え、支え合う「住民が主人公の地域福祉」をすすめる組織です。

詳細は、2月1日に本紙と同時配布している「会員募集のご案内」をご覧ください。

この会費がどのように活用されているのかを、明和校区福祉委員長の松岡 柁夫さんに伺いました。



「地域住民のために尽くしたい」と語る松岡さん

—Q1 明和校区では、会費を使ってどのような活動をされていますか？

A. 明和校区は、4地区の自主活動に会費を使っています。私は、明和地区さくら会で活動しており、本会では、年3回の行事を実施しており、七夕の集いなど、季節感のある行事を実施しています。

—Q2 七夕の集いとは？

A. 住民同士の顔の見える関係づくりに向けて、高齢者のとじこもり予防などを目的に、今年度は7月6日に学び館の多目的室で開催しました。65歳以上の高齢者を対象とし、みんなで短冊に願いを書き、食事をしながら交流を図りました。

—Q3 委員長の思い、参加者の声は？

A. 私は、この場を情報交換の場としても活用しており、住民に必要な情報を伝えるよう心がけています。また、参加者からも「見知った人と顔合わせできることを楽しみにし、今後もこの活動が継続して欲しい」という声をいただいています。



さくらのつどい(お花見会)も会費を活用して開催

—Q4 活動財源の会員になってもらうために工夫していることは？

A. 毎年会員になってもらうよう、行事参加者に財源の説明をしています。今後も活動が継続できるように、会員募集の広報を地道にしていきます。



みんな笑顔で短冊に願いを込めて

図 地域福祉課 ☎072-838-0400

福祉のお仕事座談会開催

本会では、就労に関する相談や支援を行っています。今回、初めての試みとして、地域貢献委員会と共催で福祉の仕事に関心のある人、転職を考えている人などを対象に、「福祉のお仕事座談会」を桜撫庵で令和元年12月6日(金)に開催しました。

当日は、30代から70代、5人の参加があり、高齢、障害、保育の各分野の理事長、園長の4人から、仕事の内容について話をしていただき、参加者からの質問に回答していただきました。

【主な質問と回答】①「就労支援を受け、将来、農業分野の仕事に就きたい」との想いに対して、障害分野の理事長、保育分野の園長「福祉施設でも、畑で作物を育てている施設もあるので、一度、体験してみてもいいですよ。本人も前向きに検討する気持ちになりました。」②「趣味を生かしてボランティア活動で役に立ちたい」との質問に対し、障害分野の理事長からボランティア活動につながる情報提供があり、後日ボランティア活動に参加することになりました。

③「福祉の仕事は資格がないと働けないか」との質問に保育分野の園長「仕事の内容によっては、資格がなくても働け、時間帯についても相談はできます。」と回答していただきました。④介護分野で仕事を希望している方には、高齢分野の理事長と模擬面接を個別で行いました。

参加者からは、「色々質問ができて良かった」「福祉事業の現状を知ることができ、有意義な時間でした」などの感想がありました。

この取り組みは、1月10日(金)にも開催し、令和元年度最後のお仕事座談会は、2月7日(金)14時から16時まで桜撫庵で開催します。

●定員 10人 ●参加費 無料

●申込 電話または FAX

☎ 生活支援課

☎:072-812-2040

FAX:072-838-0166



～模擬訓練で緊急時の動きを確認～

緊急時安否確認 (かぎ預かり) 事業



本事業の基盤を支える校区福祉委員会では、ひとり暮らし高齢者などの異変に気付いた際や、緊急時の安否確認、連絡方法について、定期的に模擬訓練を実施しています。新聞や郵便物がポストにたまっている、洗濯物が何日も干しっぱなしになっているなど、利用者の普段にはない状況を発見した際の連絡体制や動き方を確認しています。

また、寝屋川警察署やかぎを保管する協力施設の職員も模擬訓練に参加し、緊急時の安否確認について意見交換をしています。

対象は、市内でひとり暮らしをしている65歳以上の方です。万一に備えて、本事業の利用を検討してみませんか。

☎ 地域福祉課 ☎072-838-0400



保管しているかぎを持ち出す訓練の様子

・利用者数 760人 (12月31日現在)

安否確認の結果、生存が確認された件数 129件 (137件中) (事業開始から1月15日現在)

〈広告〉

「終の住処」として、安心できるホーム
元気な方から要介護「5」の方までご入居いただけます。

自信のある医療・看護・介護のサービスを提供いたします。

良心的価格

入居条件

- 60歳以上の方
- 要支援・要介護・認知症の方
- 施設入所待ちの方

スタッフ募集!

老人ホーム **こころ**
寝屋川市立第3中学校南側
☎072-826-6777
お電話いただければお迎えにあがります。

こんなこと、やっていますねん!

校区福祉委員会活動紹介 Vol.28 ~中央小学校区~

地域住民の憩いの場・いきいきサロン 「街カフェさくらんぼ」



村上 美代子さん



年に数回、八坂町公民館でも実施しています

中央校区福祉委員会ボランティア部会では、いきいきサロン「街カフェさくらんぼ」を地域の

公民館を利用して開催しています。

●日時 毎月第3火曜日 14時～16時

●場所 早子町公民館(※)

(※)他の公民館で実施する場合があります。自治会掲示板などでご確認下さい

●内容 軽体操や、手作り小物、塗り絵など、楽しいイベントを企画しています。

●対象 中央小学校区にお住いの方

●参加費 100円

「街カフェさくらんぼ」について、ボランティア部会・田村 敬子さん(写真右)・山田 英美さん(写真中央)・東 律子さん(写真左)からお話をうかがいました。

—Q1 「街カフェさくらんぼ」を始めたきっかけはなんですか?

A. ひとり暮らし高齢者行事だけではなく、広く地域の人が参加できる行事を実施したいと思い、街カフェさくらんぼを始めました。

—Q2 「街カフェさくらんぼ」を実施する中で意識・工夫していることはありますか?

A. サロンでは、顔なじみの参加者同士で会話ができる時間を大切にしています。また、顔なじみになった参加者が来ないときには気にかけてたり、初参加の人には声をかけるようにして、楽しく帰ってもらえることを意識しています。

—Q3 ボランティア活動で意識していることはありますか?

A. ボランティア活動では無理をせず、参加者からの声に喜びを感じながら楽しんでいます。



日頃から仲の良いスタッフさんたち

親子で遊べる・子育て応援ひろば「すくすく」

中央校区福祉委員会子育て支援部会では、子育て応援ひろば「すくすく」を実施しています。

●日時 毎月第2水曜日 10時～11時30分(9時45分受付)

※3・4・8月はお休み、2月は第1水曜日に実施

●場所 市立中央幼稚園 遊戯室

●参加費 無料

●対象 主に、0歳から就園前の

乳幼児とその保護者



靴下ゆきだるまをみんなで作ってませんか?



サンタからのプレゼントに、子どもたちも大喜び

☎ 地域福祉課 ☎072-838-0400

社協からのお知らせ

園芸福祉ボランティアらぶ
寄せ植え教室

寄せ植えを楽しんでみませんか。
草花のお好きな方、待っています!!

- 日時 3月6日(金)13時30分～(13時00分～受付)
- 講師 園芸福祉ボランティアらぶ 上山 ちよの 他
- 場所 市立保健福祉センター5階 多目的ホール
- 参加費・対象 無料・市内在住の方
- 申込 往復はがき(氏名・住所・年齢・電話番号を記入)
- 定員 20人(申込多数の場合は抽選)
- 締切 2月20日(木)
- 申込先 〒572-8566 寝屋川市池田西町24-5 市立池の里市民交流センター内 寝屋川市社会福祉協議会 園芸福祉ボランティアらぶ
- 問い合わせ先 代表・武井 林 ☎090-1967-4690
- 主催 園芸福祉ボランティアらぶ
- 後援 寝屋川市社会福祉協議会



会員募集中

社会福祉ボランティア表彰 受賞

11月に右記の方が、●厚生労働大臣表彰(個人)坂田 ひろみさん、●厚生労働大臣表彰(団体)SA北河内 百楽の会をされてきた功績に対して表彰を受けました。心から祝い申し上げます。

園 地域福祉課 ☎072-838-0400



募金へのご協力
ありがとうございました

赤い羽根共同募金 歳末たすけあい運動

赤い羽根共同募金運動(10月実施)と、歳末たすけあい運動(12月実施)は、みなさまのご協力により、下表のとおり募金が集まりました。集められた募金は福祉活動の発展のために活用されています。あたたかいご支援をいただき、本当にありがとうございました。



令和元年度 募金実績一覧

赤い羽根共同募金		歳末たすけあい運動募金	
募金種別	実績額	募金種別	実績額
戸別募金	12,268,303 円	戸別募金	11,381,119 円
事業所募金	693,622 円	事業所募金	816,800 円
バッジ募金	370,500 円	街頭募金	146,241 円
職域募金	69,054 円	一般募金	310,094 円
街頭募金	97,769 円		
学校募金	53,095 円		
募金箱・その他	129,319 円		
合計	13,681,662 円	合計	12,654,254 円

(令和2年1月15日現在)
園 総務課・地域福祉課 ☎072-838-0400

見出しと写真の上手な使い方講座

～気が付けば文字ばかりの広報紙になっていた～

広報紙を作成するうえでの基本的な考え方や技術、見出し作成方法、写真の効果的な使い方を学びます。

- 日時 2月26日(水) 13時30分～16時30分
- 会場 市立保健福祉センター4階 健康指導室
- 対象および定員 校区福祉委員会、ボランティア部会、ボランティアグループ、当事者組織、社会福祉協議会組織構成会員の広報担当者 など 30人
- 講師 読売新聞大阪本社(記者・カメラマン)
- 参加費 無料
- 申込 電話またはFAX(定員になり次第締め切り)



園 地域福祉課 ☎072-838-0400

ふくしのお仕事啓発講座

福祉の仕事ってどのような種類があるの?資格は必要なの?そんな疑問に、専門家がお答えします。現場で働く人たちから、福祉の仕事のやりがいや楽しさ、給与などについて話していただき、「ふくしの仕事の魅力」を知っていただく講座を開催します。

- 日時 2月28日(金)13時30分～16時
- 場所 市立保健福祉センター5階多目的ホール
- 定員 40人 ※参加費無料
- 申込 2月3日(月)から電話またはFAX・QRコード(お問い合わせフォーム)にて受付

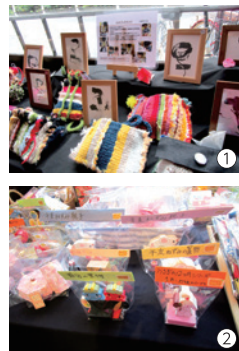
園 地域福祉課 ☎072-838-0400
FAX: 072-838-0166



チョット寄ってん家!

[2月から3月までの予定]

2月	4日(火)～7日(金)
3月	3日(火)～6日(金)



場所: 桜撫庵 長屋門スペース(桜木町1-7)

時間: 12時から17時

内容: 保育園児の作品展示(写真①)
介護保険や子育てに関する相談
障害者作業所の手作り品販売(写真②)
主催: 寝屋川市社会福祉協議会地域貢献委員会

「子どもたちの学びの手助けを」

「うらしまさん」
活動紹介

登録ボランティアグループ「うらしまさん」は、福祉体験学習を通して人に寄り添う心の大切さや、優しさへの気づきを育むお手伝いをしています。主に市内の小・中学校で、校区福祉委員会や保護者の方にご協力いただきながら、高齢者疑似体験やアイマスク体験、車イス体験などを教えています。「うらしまさん」では子どもたちの学びのために一緒に活動してくれる仲間を募集しています。まずは話を聞いてみたい!という方でも大歓迎です。ご連絡をお待ちしています♪



小・中学生だけでなく、市の新任職員研修でも高齢者疑似体験を実施

園 地域福祉課 ☎072-838-0400

本会初の取り組みに注目!

子ども
ボランティア体験講座

令和元年11月30日(土)、市立エスポアールで成美校区ボランティア部会と本会ボランティアセンターの共催で、子どもボランティア体験講座が開催されました。

内容は、子どもたちが1日サロンスタッフになり、地域住民に料理をふるまうというもの。当日は20人の子どもたちが集まり、講師役となったボランティア部会員と一緒に料理を作りました。参加した子どもたちからは「ボランティア活動、本当に楽しかった!」「次はいつやるの?」などの声があがっていました。

企画メンバーのひとりである、ボランティア部会長の皆川 操さんは「初めての試みだったので、最初はどうなることかと思いましたが、子どもたちの笑顔を見た瞬間、やってよかったな!と思いました。これからも子どもたちと一緒に活動をつくっていききたいなと思います」とこやかに話されています。



子どもたちと一緒に楽しく料理をしました

園 地域福祉課 ☎072-838-0400

善意銀行だより

あたたかいご寄附を
ありがとうございました! ♥

(10月1日～12月31日)
敬称略

現金の部	預託者氏名
	藤本 吉之
	同志社香里中学校・高等学校
	宮里歌謡教室 宮里 智子
	中西 恭三
	株式会社夢グループ 代表取締役 石田 重廣
	匿名

※一般寄附への寄附金合計は、21,953円でした。
※善意銀行への寄附金合計は、31,500円でした。

<お願い>
お受けできる物品は、新品(相当)のものに限り、
ご理解・ご協力のほどお願いいたします。

物品の部	預託者氏名	品名
	有限会社 にし尾	精米
	特別養護老人ホームロイヤルライフ 天寿苑	レトルト食品
	すばる・北斗福祉作業所	精米
	隆光学園	レトルト食品、缶詰
	京阪医療生活協同組合みどり診療所	缶詰、レトルト食品等
	みつわ会	缶詰
	千成ヤクルト販売株式会社	インスタント麺
	舩田 恵子	玄米
	吉田 英子	手押し車、杖、起立補助具
	杉浦 和男	車イス(自走式)
	鈴木 計重	玄米
	匿名	缶詰、紙おむつ

園 生活支援課 ☎072-812-2040

献血だより

400ml献血にご協力下さい

献血は地域の校区福祉委員会および関係機関・団体がお手伝いをしています。都合により、日時・場所が変更される場合があります。

日程	受付時間	実施予定場所
3月 5日(木)	10時～16時30分	アル・プラザ香里園
3月 6日(金)	10時～16時30分(休:13時～14時)	市立保健福祉センター
3月13日(金)	10時～16時30分(休:12時～13時)	ピパモール寝屋川

園 北大阪赤十字血液センター ☎072-632-4747

